

IPv4アドレス枯渇に向けた提言 を考える

JPNIC 番号資源利用状況調査研究専門家チーム

まほろば工房 近藤邦昭

2006/07/14

本日の趣旨

- 先ごろ発表された「IPv4アドレス枯渇に向けた提言」by JPNIC に書かれている(書いた)ことを元に、運用者としてどんなことを考え・覚悟しておいたほうがいいのかみんなで考えましょう！
- 制限時間は90分。
- 余計な説明はありません。

Focus or Out of Focus

- IPv6をどう使うかの議論じゃありません。
 - IPv4→IPv6マイグレーションとしての話はOK
- オペレーションからの発想で議論
 - 考える範囲は相当に広いが整理しながら議論しましょう。
- 吊るし上げはしない。
 - 皆さん大人なんで大丈夫だと思いますが、誰が悪いとかそういう話をしても始まりません。前向きに！

登壇者、召還

- 國武浩一さん
 - アンカーテクノロジー
- 藤本幸一郎さん
 - NEC Corporation of America
- スクリプティングご協力者
 - 菊池さん
 - インターネット・マルチフィード

皆さん！読んでできました？

よーい、どん。

考えられる議論のテーマ

- Agenda Bashingからはじめましょう
 - まだら色インターネットの時の運用上の問題点
 - トランスレータって必要？
 - おくとしたらどこ？
 - どんなトラブルがある？
 - ポリシーの問題
 - アドレスを綺麗に割振り完了させるためのポリシーは十分？
 - クリティカルインフラストラクチャ用アドレスは必要？
 - どこまでの移行計画が必要？
 - IPv4オンリーのままでやっていけるネットワークは？
 - IPv4とIPv6はうまく共存させることで面白いネットワークつくれる？
- その他、募集！